

代表質問

日本共産党

〔総括質問者〕
清水みな子

金子 貞作

高坂 進

やなぎ美智子

〔補足質問者〕
廣田 徳子

夜間の防災訓練

問 災害は昼夜を問わず発生するため、夜間の防災訓練を行うことで、いざという時に備えることが出来る。岡山県総社市では、自治会ごとに夜間訓練を実施し、それが非常に役に立ったという。本市においても、地域ごとに防災訓練が行われているため、夜間訓練の実施を呼びかけてはどうか。また、市の職員による夜間

答 訓練も実施すべきと考えるが、市の見解を問う。
夜間訓練については、過去に避難所開設・運営訓練や災害ボランティアネットワークによる野営訓練等が行われている。また、地域でも自治会やPTA等が中心となり、幸小学校や八幡小学校で、体育館を使い、夜間の避難所体験訓練が行われているとのことである。こうした訓練は、熊本地震のように夜間に災害が発生した場合等の対策として大変有効であり、今後、地域



総合防災訓練の様子

緑風会第2

〔総括質問者〕

松井 努

松永 鉄兵

石原みさ子

第二東京湾岸道路の整備

問 第二東京湾岸道路に関して、令和元年6月に市川商工会議所から県知事宛てに要望書が提出されている。この要望書は、都心方面と県内を結ぶ新たな高速道路である第二東京湾岸道路に係る国の建設計画が再始動したことを受けて、計画の

答 第二東京湾岸道路に

湾岸道路の整備と三番瀬

域高規格道路の候補路線に指定しているが、前知事が三番瀬の埋め立て計画の中止を表明して以降、積極的な議論はされてこなかった。しかし、31年1月に現知事が国に対して、新たな規格の高い道路ネットワーク整備の早期具体化を要望したことから、検討が始まったところである。本道路の整備は、湾岸道路の慢性的な渋滞の解消策として期待されるものの、具体的なルートは、示されていない状況である。そこで、国や県に対し、十分な情報提供や説明を求めると共に、三番瀬などの周辺環境への配慮など、市の要望に配慮するよう求めていきたい。

問 また、第二東京湾岸道路の検討が再始動したことに伴い、そのルート上にある市川三番瀬がどうなるのかという問題も再浮上している。そこで、県知事に対する市川商工会議所の要望事項も踏まえ、本市の見解について問う。

答 三番瀬の人工干潟化等については、埋め立て計画を中止し三番瀬再生計画を策定した県の責任において行うものと考えている。また、埋め立てについては、新たな道路ネットワーク整備のルートや構造等の具体

視すると共に、本要望書や地元の意見等を踏まえ、慎重に見極めていきたい。



市川漁港から望む三番瀬(さんばんぜ)

児童虐待対策

問 市は、令和2年4月に虐待対策担当室を廃止して子育て支援事業等も兼ねた「こども家庭支援課」を新設することだが、相談対応職員は子育て支援全般に対応することとなり業務量の増加が懸念される。児童虐待相談の件数と対応要

員数の状況について問う。

答 元年度の本市の児童虐待相談件数は、2年1月末日現在で延べ6672件、実人数は776人であり、実人数は前年度比で約1.6倍である。一方、相談対応職員も前年度の11人から元年度は17人に増やしているため、1人の職員が対応する相談件数は前年度と同水準となり、概ね必要な人数が配置されていると考えている。また、児童虐待相談業務については組織として

自殺対策

問 令和2年度には、これまで市が実施していた自殺対策事業の相談業務を外部委託することである。市民への直接対応が必要となる事業は、行政が一番大切にしなければならぬ市民サービスであり、これまでは市が実施していたからこそ、市内各部署の連携がスムーズにできていたと考える。本業務委託の内容はどのようなもので、委託後の連携方法はどうか。

答 本業務委託の内容につ

いては、24時間受付可能なWeb相談を実施する他、面接や電話相談は、休日を含め対応時間を延長する予定である。また、面接は市内に限らず、県内や都内等の多くのカウンセリング機関で受けられるようになり、現在より相談しやすい環境になると考えている。委託後は、委託先から相談実績の報告を受けるが、消防や警察等との連携が必要となるような特に緊急性の高いケースに対しては、委託先との連携を一層強化して対応していく。その他、市内各部署との連携が必要なケースでは、現在と同様に健康支援課から各部署へ繋げることで、しっかりと連携を図り適切に支援していく。



住宅地近郊の農地